青の煌めきあおもり国スポ「深浦町炬火イベント」

炬火を囲み記念撮影

青の煌めきあおもり国スポ「深浦町炬火イベント」が6月7日(土)、深浦町民体育館で開催されました。

町内の子どもたち16人と弘前大学教育学部の学生8人が参加し、青の煌めきあおもり国スポ・障スポの成功を願うとともに、出場する選手たちへの応援の気持ちを込めて、火起こしを行いました。

火起こしを体験する子どもたち

参加した子どもたちは、おそろいのTシャツを着て、協力しながらマイギリ式による火起こしに挑戦。「頑張れ!」「もう少し!」と励まし合いながら、懸命に火起こしに取り組みました。

火起こしの後には、参加者全員で炬火リレーを実施。アンカーからトーチを手渡された平沢町長は、町を代表して炬火台へ火を灯しました。

今回起こした火は、7月25日(土)に三内丸山遺跡で開催される「青の煌めきあおもり国スポ・障スポ炬火集火式」において、「深浦町の炬火」として使用されます。

弘大生によるふかうらスポーツ教室開催

キャッチボールをする子どもたち

弘前大学教育学部の学生が主催する「ふかうらスポーツ教室」が、6月6日(土)と7日(日)の2日間にわたり、深浦町民体育館と八森山野球場で開催され、町内の小学1年生から高校1年生まで24人が参加しました。

弘前大学の学生による指導は、野球・ソフトボール・バドミントン・バレーボール・テニスの5種目。参加した子どもたちは、大学生が考案した練習メニューに取り組み、さまざまなスポーツを楽しく元気いっぱいに体験しました。

主催した弘前大学の佐々木さんは「子どもたちが笑顔で取り組み、本当に楽しそうに活動してくれてよかったです」と充実した様子でした。

バレーボール初体験

大戸瀬中学校「漁業体験」学習

漁協職員へ質問している様子

6月8日(月)、新深浦町漁業協同組合は、大戸瀬中学校1年生を対象に漁業体験学習を実施しました。

参加した生徒たちは、最初に荷さばき所を見学し、水揚げされたばかりの魚の種類や特徴について学びました。普段見る機会の少ない大型の魚やさまざまな種類の魚に興味津々で、漁業関係者に積極的に質問するなど、熱心に学習に取り組んでいました。

また、青森県漁業士会日本海支部会の山下会長による「漁師の道具・漁法」をテーマとした講話も行われ、深浦町で行われているさまざまな漁法や使用する漁具について紹介してもらいました。生徒たちは漁師ならではの知恵や技術に感心しながら、真剣な表情で耳を傾けていました。

今回の体験学習を通じて、生徒たちは地域の基幹産業である漁業への理解を深めるとともに、水産業の魅力や重要性について学ぶ貴重な機会となりました。

漁師の漁具や漁法について学ぶ様子

林業体験学習を開催しました

6月17日(水)、深浦小学校4年生15名といわさき小学校3・4年生11名が、十二湖で林業や地域の自然について学びました。

この林業体験学習は、津軽森林管理署、津軽白神森林生態系保全センター及び深浦町の共催で実施され、森の物産館「キョロロ」駐車場で開会式を行った後、5班に分かれてネイチャーゲーム(森の植物探し)や、のこぎりを使った丸太切り体験を行いました。

ネイチャーゲームでは青池や鶏頭場の池周辺を散策し、渡されたパネルに書かれている植物を探しました。子どもたちは目当ての植物を見つけると、パネルの写真と見比べて確認した後、植物について説明を受け、特徴などを学びました。

林業体験学習に参加した子どもたちは「丸太を切るのが大変だったけど、上手くできて良かった。」「全部の植物を見つけられて楽しかった。」と話していました。

丸太切りのコツを教わる小学生

ホオノキを探す小学生